

PQ計算のみ

V-up III 入門

Ver.4.0.0



1. PQ計算をはじめる

デスクトップ上のショートカットアイコン、またはスタートメニューからV-upⅢを起動します。



V-upⅢを起動すると、初期画面が開きます。

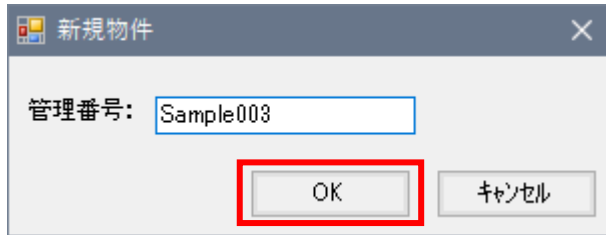
会社名とプラン作成者名を入力して[次へ]をクリックします。



処理メニュー画面が開きます。

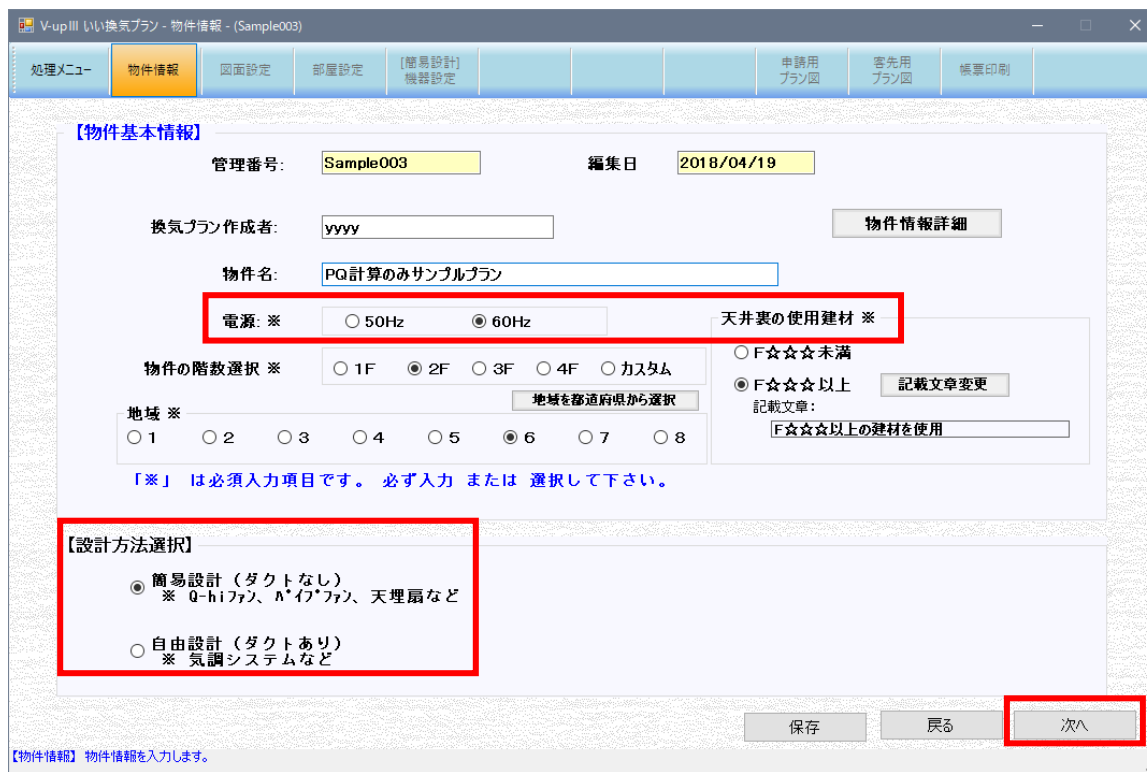
[プラン作成]をクリックします。

2. 物件情報を入力する



管理番号入力ウィンドウが開きます。

任意の管理番号を入力して[OK]をクリックします。



物件情報画面が開きます。

赤枠の電源周波数を選択します。

(赤枠以外の入力、選択は任意です。)

設計方法選択は「簡易設計」を選択します。

最後に[次へ]をクリックします。

電源周波数の確認ウィンドウが出たら、

はい(Y)

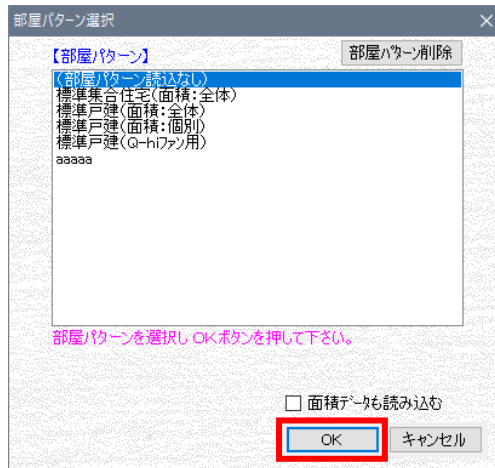
をクリックします。

詳細は、『V-up III 操作マニュアル』32ページ～

3. 図面設定はしないで次へをクリックして部屋パターン選択をする



図面設定画面が表示されますが何もしないで次へをクリックします。



部屋パターン選択ウィンドウが表示されます。
部屋パターンを選択します。

※ここでは例として「(部屋パターン読み込みなし)」を選択しています。

[OK]をクリックします。

4. 部屋設定をする 1/2

●合計情報

	1F	2F	3F	4F	地階	小屋裏	ロフト	中2階	中3階	合計
床面積合計(対象外含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(内、個別部分)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
必要有効換気量(共用1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設計換気量(共用1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

部屋設定画面が表示されます。

[部屋追加]をクリックします。

※ 換気対象面積を各階でまとめて登録する場合に使用します。

※ 部屋名の削除。削除する部屋を選択して「部屋名削除」ボタンを押す。

部屋選択ウィンドウが表示されます。

追加する部屋を選択します。

※ここでは例として「トイレ」を選択しています。

チェックしたら、「[〇〇]へ追加」をクリックします。

※ここでは例として「[1F]へ追加」を選択しています。

詳細は、『V-up III 操作マニュアル』52ページ～

4. 部屋設定をする 2/2

部屋選択

【通用区分】
☒ 共用1 ☐ 共用2 ☐ 共用3
☐ 共用4 ☐ 共用5 ☐ 共用6

「1F」へ追加 「2F」へ追加 「3F」へ追加 「4F」へ追加 「地階」へ追加
 「小屋裏」へ追加 「ロフト」へ追加 「中2階」へ追加 「中3階」へ追加

※ 部屋名の削除。削除する部屋を選択して「部屋名削除」ボタンを押す。

【換気計画の検討範囲】
 【検討範囲】
☐ 換気対象(全体) ※ 換気対象面積を各階でまとめて登録する場合に使用します。

【排気側】
 【トイレ】
☒ トイレ
☐ トイレ1
☐ トイレ2
☐ 便所

 【洗面所】
☐ バッスルーム
☐ バスルーム
☐ 洗面
☐ 洗面所

 【浴室】
☐ シャワールーム
☐ 浴室

 【廊下】
☐ バントハウス
☐ ホール
☐ 廊下

 【収納】
☐ SC
☐ ウォークインクローゼット
☐ クローゼット
☐ クローゼット

 【その他:排気側】
☐ エレベーター部分
☐ 機械室
☐ 小屋裏
☐ 床下

 【局所】
 【バルコニー】
☐ コバルコニー
☐ ミニキッチン
☐ 給湯室
☐ 湯沸し室

 【給気側】
 【リビング】
☐ LD
☐ LDK
☐ LDK一部
☐ ダイニング
☐ リビング
☐ 居間

 【洋室】
☐ プレイールーム
☐ 応接室
☐ 勾配天井
☐ 子供部屋1
☐ 子供部屋2
☐ 子供部屋3

 【和室】
☐ 和室
☐ 和室1
☐ 和室2
☐ 和室3

 【その他:給気側】
☐ ロフト
☐ ロフト1
☐ ロフト2

 【事務所・店舗】
☐ スタッフルーム
☐ 会議室
☐ 更衣室
☐ 事務所
☐ 店舗

 部屋追加
 1 F に 1 個の部屋を追加しました。
 「共用1」
 OK

部屋設定画面に戻る

いくつかの部屋を追加したか確認するメッセージが出ます。
 [OK]をクリックします。

部屋追加

1 F に 1 個の部屋を追加しました。
 「共用1」

OK

最後に[部屋設定画面に戻る]をクリックしてください。

処理メニュー 物件情報 図面設定 部屋設定 簡単に設計 機器設定 申請用プラン図 客先用プラン図 帳票印刷

部屋追加 部屋削除 部屋コピー 部屋貼付け 換気回数 0.5 回/時間 反映 表示画面一括設定 事例集(pdf)表示
 部屋設定内容全削除 天井高さによる換気回数補正 全階 未設定 反映
 部屋面積詳細計算 詳細計算行を表示しない

天井高さ一括設定 2.5 m 全階 反映 縮小設定 縮小設定 切上:3 切上:3

通用区分	階数	部屋名称	床面積 m ²	天井高 m	常時機器	局所機器	機器種類(用途)	換気回数	気積 m ³	必要有効換気量 m ³ /h	表示画面	機器の色
共用1	1F	トイレ	1.66	2.5	☒	☐	トイレ(排気)	0.5	4.15	2.08	未設定	白色
共用1	1F	ホール	3.31	2.5	☒	☐	廊下(排気)	0.5	8.28	4.14	未設定	白色
共用1	1F	玄関	4.14	2.5	☒	☐	廊下(排気)	0.5	10.35	5.18	未設定	白色
共用1	1F	LDK	13.24	2.5	☒	☐	居室(給気)	0.5	33.1	16.55	未設定	白色
共用1	1F	洋室	7.45	2.5	☒	☐	居室(給気)	0.5	18.63	9.32	未設定	白色

●合計情報 ●全て ●共用1 ●共用2 ●共用3 ●共用4 ●共用5 ●共用6

	1F	2F	3F	4F	地階	小屋裏	ロフト	中2階	中3階	合計
床面積合計(対象外含む)	29.8	0	0	0	0	0	0	0	0	29.8
(内、個別部分)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
必要有効換気量(共用1)	37.27	0	0	0	0	0	0	0	0	37.27
設計換気量(共用1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	106

部屋/カーン名: 部屋/カーン再読み込み 部屋/カーン登録 系統(階数)名称変更 部屋設定一覧表印刷 保存 戻る 次へ

【部屋設定】 部屋を設定します。

部屋設定が完了したら、

※ここでは例として「トイレ、ホール、玄関、LDK、洋室」を設定しています。

床面積を入力し

(天井高は初期値2.5なので変更があれば変更して)

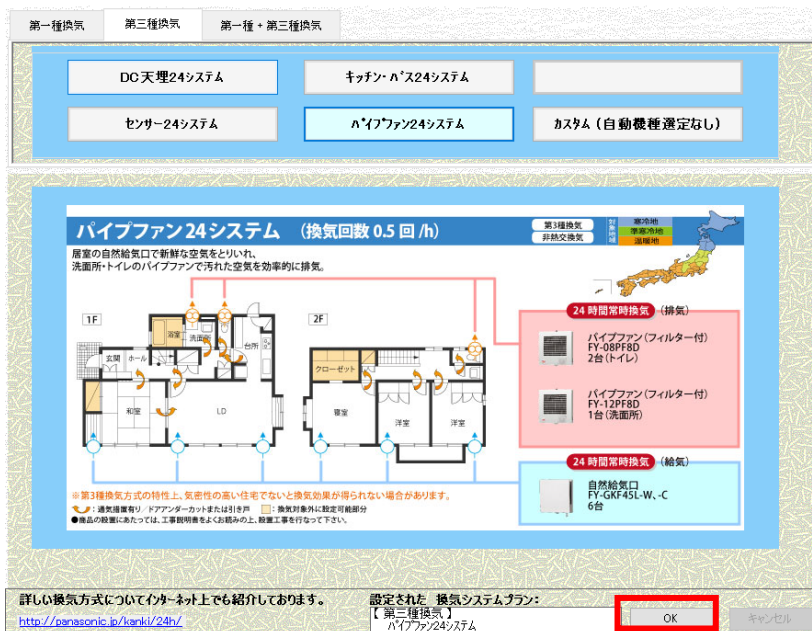
[次へ]をクリックします。

5. 機器設定をする 1/3



プラン設定ウィンドウが表示されるので
第三種換気のタブをクリックします。

今回はパイプファン24システムをクリック
します。



OKをクリックします。

詳細は、『V-upⅢ 操作マニュアル』71ページ～

5. 機器設定をする 2/3

機器の選定条件設定

換気種別: 第三種 プラン名: パイフワン24システム

【屋外フード設定 (Q-hiファン除く)】

●ファイヤーダンパー ※Q-hiファン設定と連動
☒ FDなし ☐ FDあり

●材質
☒ 標準(アルミ・鋼板) ☐ ステンレス

●形状
☒ 標準(深形) ☐ 丸形 ☐ ベントキャップ*
☐ ヒタンコ (スリット有) ☐ ヒタンコ (スリット無) ☐ フラット (防風板)
カヒタ

●用途
☒ 標準 ☐ 防音用 ☐ 薄壁用
☐ 平形 ☐ 寒冷地

●開口部仕様 ガラリ: ☒ あり ☐ なし
防虫網: ☐ あり ☒ なし

「FY-MFA043」シリーズ

【スイッチ設定】
☒ カバーなし ☐ カバーあり

【設計風量設定】
☒ 強 ☐ 弱
※常時換気ノッチのみ対象

【給気機器設定】
☒ 自然給気口
☐ 換気カマチ

【屋外フード】
☒ FY品番
☐ VB品番

OK 屋外フードのみ変更 スイッチのみ変更 キャンセル

それぞれカテゴリを選択してOKをクリックします。

※この画面で選択したシステムによってPQ計算が異なります。

5. 機器設定をする 3/3

Vup III いい換気プラン - 機器選定 - (1)

処理メニュー 物件情報 図面設定 部屋設定 [簡単設計] 機器設定 申請用プラン図 変更用プラン図 概要印刷

地域: 5地域 周波数: 60Hz 換気種別: 第三種 プラン名: ハイファンシステム 再自動選定 プラン変更 選定条件設定

機器クリア 品番変更 一括変更 選択中の部屋に機器追加 追加した機器削除(実行)

☒ 常時換気 ☐ 局所換気 ☒ 全て ☐ 個別 ☐ 共用1 ☐ 共用2 ☐ 共用3 ☐ 共用4 ☐ 共用5 ☐ 共用6

適用区分	階	部屋名称	機器種類(用途)	必要有効換気量(m3/h)	排気量	設計換気量(m3/h)	判定	外	換気設備機器	品名	品番	個数	屋外フード	品名	品番
共用1	1F	トイレ	トイレ(排気)	2.08	53.00	53.00	0.00	—	パイプファン(70L)	FY-08PFL9D	1	1	深形フード(70L)	FY-MFA04E	
		ホール	廊下(排気)	4.14	53.00	53.00	0.00	—	パイプファン(70L)	FY-08PFL9D	1	1	深形フード(70L)	FY-MFA04E	
		玄関	廊下(排気)	5.18	0.00	0.00	0.00	—			0	0			
		LDK	居室(給気)	16.55	0.00	0.00	0.00	—	自然給気口(定風)	FY-GKF45L-W	1	1	深形フード(70L)	FY-MFA04E	
		洋室	居室(給気)	9.32	0.00	0.00	0.00	—	自然給気口(定風)	FY-GKF45L-W	1	1	深形フード(70L)	FY-MFA04E	

< 共用換気 判定 > ☐ 一覧表示 ☒ 詳細表示

判定表示 共用1

【換気量】

必要換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定
37.27	106.00	適合

【給排バランス】

給気口の数はいくつですか？
(給気口は 10 ~ 12 置に 1個が目安です)

【換気回数】

必要換気回数	設計換気回数	判定
0.50回/h	1.42回/h	適合

保存 戻る 次へ

【機器選定】 機器を選定します。

換気システムにもとづいて、
機器が自動選定されます。

今回は設計換気回数が0.5回より大分多い(1.42回)
のでホールのパイプファンを削除します。

Vup III いい換気プラン - 機器選定 - (1)

処理メニュー 物件情報 図面設定 部屋設定 [簡単設計] 機器設定 申請用プラン図 変更用プラン図 概要印刷

地域: 5地域 周波数: 60Hz 換気種別: 第三種 プラン名: ハイファンシステム 再自動選定 プラン変更 選定条件設定

機器クリア 品番変更 一括変更 選択中の部屋に機器追加 追加した機器削除(実行)

☒ 常時換気 ☐ 局所換気 ☒ 全て ☐ 個別 ☐ 共用1 ☐ 共用2 ☐ 共用3 ☐ 共用4 ☐ 共用5 ☐ 共用6

適用区分	階	部屋名称	機器種類(用途)	必要有効換気量(m3/h)	排気量	設計換気量(m3/h)	判定	外	換気設備機器	品名	品番	個数	屋外フード	品名	品番
共用1	1F	トイレ	トイレ(排気)	2.08	53.00	53.00	0.00	—	パイプファン(70L)	FY-08PFL9D	1	1	深形フード(70L)	FY-MFA04E	
		ホール	廊下(排気)	4.14	0	0	0.00	—			0	0			
		玄関	廊下(排気)	5.18	0.00	0.00	0.00	—			0	0			
		LDK	居室(給気)	16.55	0.00	0.00	0.00	—	自然給気口(定風)	FY-GKF45L-W	1	1	深形フード(70L)	FY-MFA04E	
		洋室	居室(給気)	9.32	0.00	0.00	0.00	—	自然給気口(定風)	FY-GKF45L-W	1	1	深形フード(70L)	FY-MFA04E	

< 共用換気 判定 > ☐ 一覧表示 ☒ 詳細表示

判定表示 共用1

【換気量】

必要換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定
37.27	53.00	適合

【給排バランス】

給気口の数はいくつですか？
(給気口は 10 ~ 12 置に 1個が目安です)

【換気回数】

必要換気回数	設計換気回数	判定
0.50回/h	0.71回/h	適合

保存 戻る 次へ

【機器選定】 機器を選定します。

品番を選んで機器クリアをクリックすると
品番が削除され換気回数が0.71になりました。

6. PQ計算をする 1/3

V-upIII いい換気プラン - 機器選定 - (1)

処理メニュー 物件情報 図面設定 部屋設定 [簡易設計] 機器設定 申請用プラン図 客先用プラン図 帳票印刷

地域: 5地域 周波数: 60Hz 換気種別: 第三種 プラン名: ハイファンシステム 再自動選定 プラン変更 選定条件設定

機器クリア 品番変更 一括変更 選択中の部屋に機器追加 追加した機器削除(選択行)

☒ 常時換気 ☐ 局所換気 ☒ 全て ☐ 個別 ☐ 共用1 ☐ 共用2 ☐ 共用3 ☐ 共用4 ☐ 共用5 ☐ 共用6

適用階	部屋名称	機器種類(用途)	必要有効換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定	計算	屋外フード		
			換気量(m3/h)	排気 有効 給気 換気量 風量	個別 換気	品名 品番	品名 品番		
共用1 1F	トイレ	トイレ(排気)	2.08	53.00	53.00	0.00	パイプファン(フィルター)	1 深形フード(アルミ)	FY-MFA04S
	ホール	廊下(排気)	4.14	0	0	0		0	
	玄関	廊下(排気)	5.18	0.00	0.00	0.00		0	
	LDK	居室(給気)	16.55	0.00	0.00	0.00	自然給気口(定風: FY-GKF45L-W)	1 深形フード(アルミ)	FY-MFA04S
	洋室	居室(給気)	9.32	0.00	0.00	0.00	自然給気口(定風: FY-GKF45L-W)	1 深形フード(アルミ)	FY-MFA04S

< 共用換気 判定 > ☐ 一覧表示 ☒ 詳細表示

判定表示 共用1

必要換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定
37.27	53.00	適合

【給排バランス】

給気口の数よろしいですか？
(給気口は 10 ~ 12 畳に 1個が目安です)

【換気回数】

必要換気回数	設計換気回数	判定
0.50回/h	0.71回/h	適合

保存 戻る 次へ

【機器選定】 機器を選定します。

PQ計算をするので
品番をダブルクリックします。

詳細は、『V-upIII 操作マニュアル』77ページ～

6. PQ計算をする 2/3

品番情報

部屋名: トイレ 必要換気風量(m3/h): 0

【現在の設定機種】

本体

機体種類: パイプファン(9タイプ) ☒

機体種類: トイレ(排気)

用途: 本体色指定: 木目系 ☒

ダクト計算開始

本体品番変更

屋外フード

FD: ☒ なし ☐ あり

材質: アルミ

形状: 深形

用途: 標準

ガラリ: ☐ なし ☒ あり

防虫網: ☒ なし ☐ あり

品番: FY品番

フード品番変更

スイッチ

☒ スイッチなし

スイッチ品番変更

設定台数: 1 最大セット数: (1~99)

排気風量: 53.00 m3/h

有効換気量: 53.00 m3/h

給気風量: 0.00 m3/h

全体の必要換気風量①: 0.00 m3/h

設定済み換気風量②: 53.00 m3/h

換気風量 ①-②: 53.00 m3/h 余剰

適用(A) キャンセル

ノッチ	排気	有効	給気	品 名	品 番
強弱なし	53	53	0	パイプファン(フィルター)	FY-08PFL9D

それぞれ赤枠で計算したい機種などを選択し
ダクト計算開始ボタンをクリックします。
(自動選定された機器を変更したい時はここで
変更します。)

6. PQ計算をする 3/3

ダクト計算ウィンドウが表示されます。

ダクト種類を選び、ダクト長さと曲り数にそれぞれ数字を入力してノッチの強弱を選んでクリックします。

ここでは「強弱なし」ボタンをクリックします。

ダクト計算

【機器情報】
機器種類: バイブファン(9タイプ)
本体品番: FY-08PFL9D
フード品番: FY-MFA043

【ダクト設定】 ※ダクト材料は現地手配品です。
ダクト種類: 塩化ビニール管(現地手配品) ▼
λ値: 0.02
損失係数: 0.22
ダクト長さ(m): 1
曲り数: 0
排気: 強弱なし

有効風量: 52.00 m³/h
計算静圧: 2.85 Pa

1次ダクト	(1) 風量 Q (m³/h)	52.00
塩化ビニール管	(2) 基準風量 Qs (m³/h)	120
	(3) ダクト径 D (m)	0.10
	(4) 基準動圧 Pv (Pa)	10.81
	(5) ダクト長さ L (m)	1.0
	(6) 摩擦係数 λ	0.020
	(7) 曲りの径 B	0.220
	(8) 曲りの個数	0
(イ)	$=[(6) \times (5) / (3) + (7) \times (8)] \times (4) \times [(1) / (2)]^2$	0.41
バイブファン	(1) 風量 Q (m³/h)	52.00
FY-MFA043	(2) ダクト径 D (m)	0.10
	(3) 基準風量 Qs (m³/h)	120
	(4) 基準動圧 Pv (Pa)	10.81
室外端末	(5) 室外端末 ζ	1.20
(ロ)	$= (5) \times (4) \times [(1) / (3)]^2$	2.44
Pr=(イ)+(ロ)		2.85

適用(A) キャンセル

風量と静圧がでます。

適用(A)をクリックします。

ダクト計算

【機器情報】
機器種類: バイブファン(9タイプ)
本体品番: FY-08PFL9D
フード品番: FY-MFA043

【ダクト設定】 ※ダクト材料は現地手配品です。
ダクト種類: 塩化ビニール管(現地手配品) ▼
λ値: 0.02
損失係数: 0.22
ダクト長さ(m): 1
曲り数: 0
排気: 強弱なし

有効風量: 52.00 m³/h
計算静圧: 2.85 Pa

1次ダクト	(1) 風量 Q (m³/h)	52.00
塩化ビニール管	(2) 基準風量 Qs (m³/h)	120
	(3) ダクト径 D (m)	0.10
	(4) 基準動圧 Pv (Pa)	10.81
	(5) ダクト長さ L (m)	1.0
	(6) 摩擦係数 λ	0.020
	(7) 曲りの径 B	0.220
	(8) 曲りの個数	0
(イ)	$=[(6) \times (5) / (3) + (7) \times (8)] \times (4) \times [(1) / (2)]^2$	0.41
バイブファン	(1) 風量 Q (m³/h)	52.00
FY-MFA043	(2) ダクト径 D (m)	0.10
	(3) 基準風量 Qs (m³/h)	120
	(4) 基準動圧 Pv (Pa)	10.81
室外端末	(5) 室外端末 ζ	1.20
(ロ)	$= (5) \times (4) \times [(1) / (3)]^2$	2.44
Pr=(イ)+(ロ)		2.85

適用(A) キャンセル

7. 機器設定画面へ戻る



品番情報ウィンドウに戻ります。
適用(A)をクリックします。



機器設定画面に戻ります。

判定が適合になっている事を確認して
次へをクリックします。

8. プランを印刷／データ出力する 1/2

管理番号 1
件 名

物件データ出力

見積書
見積明細編集 プレビュー 印刷 Excel出力 印刷指定 表紙設定
品番取得とタ外品番設定

換気計算書
プレビュー 印刷 Excel出力

申請用プラン図
プレビュー 印刷 JP G出力 ☐ プラン図をA4横で印刷

客先用プラン図
プレビュー 印刷 JP G出力 客先用プラン図を削除する

機器一覧表
プレビュー 印刷 Excel出力

部屋設定一覧表
プレビュー印刷 不燃ダクト経路別組合せ表 プレビュー印刷 一次エネルギー消費量入力値一覧表 プレビュー印刷

一括印刷・Excel出力
☒ 見積書 ☒ 換気計算書 ☐ 部屋設定一覧表
☒ 申請用プラン図 ☐ 客先用プラン図
☒ 機器表(出力のみ) ☒ 不燃ダクト経路別組合せ表 ☒ 一次エネルギー消費量入力値一覧表
※機器表、付属資料(経路別組合せ表、一次エネルギー消費量入力値一覧表は、別ファイルとして出力されます。)

一括印刷 一括Excel出力

保存 戻る 処理選択へ

【印刷】 見積書、換気計算書、確認申請用換気プラン図、お客様提案換気プラン図を印刷します。

帳票印刷画面が表示されます。

各ボタンから印刷／データ出力をおこないます。



印刷プレビューを表示します。



データを印刷します。



データをExcel出力します。

印刷／データ出力が終わったら、[処理選択へ]をクリックしてください。

物件ファイル更新の確認ウィンドウが表示されます。

「現在の管理Noで保存」を選択して、[OK]をクリックします。

処理メニュー画面が表示されます。

物件ファイル更新の確認

【物件ファイル保存方法の確認】

☒ 現在の管理Noで保存 管理No: Sample003

☐ 別管理Noとして保存 新管理No:

☐ 保存しない (追加・修正内容が破棄されます)

OK キャンセル

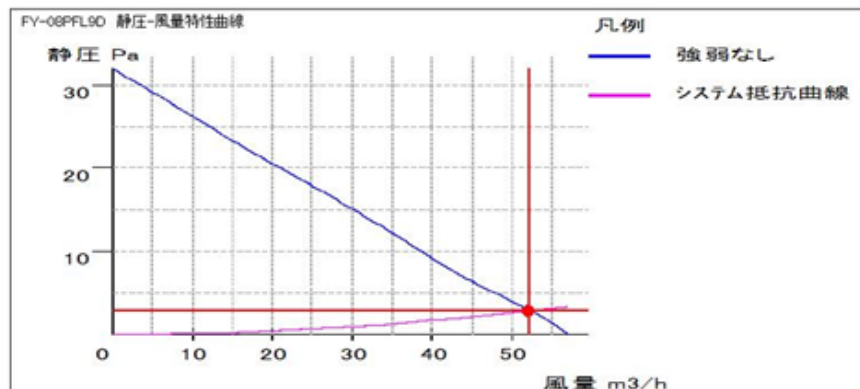
8. プランを印刷／データ出力する 2/2

■排気用計算シート FY-08PFL9D + FY-MFA043

有効換気量	(m ³ /h)	52	適用区分	共用1
有効換気量率		1	計算経路	1F
システム風量	(m ³ /h)	52	管理No.	Sample003

		計算名	
		トイロ	
本体	FY-08PFL9D		
1次ダクト	風量 Q	(m ³ /h)	(1) 52
塩化ビニール管	基準風量 Q ₀	(m ³ /h)	(2) 120
	ダクト径 D	(m)	(3) 0.1
	基準静圧 P _v	(Pa)	(4) 10.81
	ダクト長さ L	(m)	(5) 1
	摩擦係数 λ		(6) 0.02
	曲がり部の数 B		(7) 0.22
	曲がり部の半径		(8) 0
	(1) = (2) × (3) / (4) × (5) × [(1) / (2)] ²		0.41
室外機	風量 Q	(m ³ /h)	(1) 52
FY-MFA043	ダクト径 D	(m)	(2) 0.1
	基準風量 Q ₀	(m ³ /h)	(3) 120
	基準静圧 P _v	(Pa)	(4) 10.81
	室外機長さ L	(m)	(5) 1.2
	(1) = (2) × (3) / (4) × [(1) / (2)] ²		2.44
	Pr = (1) + (2)		2.85

システム風量	52 m ³ /h
最大圧力損失	2.85 Pa



風速数	運転モード
90%	強弱なし

※システム風量は部品等一式を装着した時の値です。
 ※計算表の各名の下に記載されている数値は、「▼」最大と表示されている経路で使用されている数値を記載しています。
 ※施工時はそれぞれのダクト長さ及び曲がり部の数以内で行ってください。変更の場合は再計算が必要です。
 ※本計算は建築基準法及び施行令等(シックハウス対策)に基づいた計算値です。
 ※実際の風量は住宅性能、設置条件により異なる場合があります。
 ※本資料は貴社情報による参考資料です。施工時には建築士と十分な最終確認を行ってください。

※出力結果参照

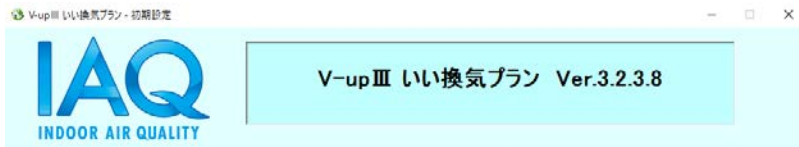


印刷プレビューを表示すると

左記の様に完成したPQ計算書が表示されます。

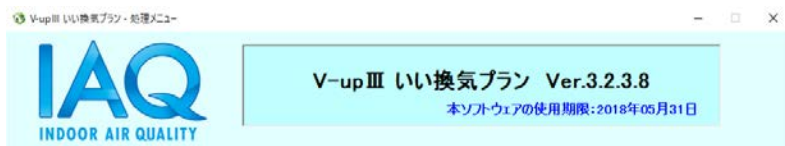
9. プラン編集からダクト、曲がりの変更で計算書作成ができる 1/5

デスクトップ上のショートカットアイコン、またはスタートメニューからV-upⅢを起動します。



V-upⅢを起動すると、初期画面が開きます。
何も入力しないで[次へ]をクリックします。

(最初から入力されている)。



処理メニュー画面が開きます。
[プラン修正]をクリックします。



10. プラン編集からダクト、曲がりの変更で計算書作成ができる 2/5

物件一覧

【条件検索】

管理No: ☒ 起動時に件名一覧を表示しない

件名:

検索開始 実行プラン

管理No	件名	更新日	印字換気プラン名	換気プラン名	Ver No.
Sample003	PQ計算のみサンプルプラン	2018/04/23	ハイファン24システム	ハイファン24システム	V-up III Ver.3.2.3.8
Sample001	自由設計サンプルプラン	2017/02/02	換気システム	換気システム	V-up III Ver.3.0.23
Sample002	簡易設計サンプルプラン	2016/11/01	Q-hiファン+センサー24システム	Q-hiファン+センサー24システム	V-up III Ver.2.14.8

修正

件名データ保存先変更 OK キャンセル

件名データ保存先: C:\Users\8010258\Documents\FanPlan\Data

物件一覧ウィンドウが開きます。

修正したいプランの管理番号を入力して
[検索開始]をクリックすると入力内容を含む
プランが全て表示される。

V-up III いい換気プラン - 物件情報 - (Sample003) - PQ計算のみサンプルプラン

処理メニュー 物件情報 図面設定 部屋設定 簡易設計 機器設定 申請用プラン図 客先用プラン図 帳票印刷

【物件基本情報】

管理番号: 編集日:

換気プラン作成者: 物件情報詳細

物件名:

電源: ※ ☐ 50Hz ☒ 60Hz

物件の階数選択 ※ ☐ 1F ☒ 2F ☐ 3F ☐ 4F ☐ カスタム

地域: ※ ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5 ☒ 6 ☐ 7 ☐ 8

天井裏の使用建材 ※

☐ F☆☆☆☆未満

☒ F☆☆☆☆以上 記載文章変更

記載文章:

【設計方法選択】

☒ 簡易設計 (ダクトなし)
※ Q-hiファン、A-hiファン、天埋扇など

☐ 自由設計 (ダクトあり)
※ 気調システムなど

保存 戻る 次へ

【物件情報】 物件情報を入力します。

修正したいプランを選択して[OK]をクリックすると
修正したいプランの物件情報画面が開きます。
[次へ]をクリックすると図面設定画面になるので
先回同様何もしないで次へをクリックします。

10. プラン編集からダクト、曲がりの変更で計算書作成ができる 3/5

V-up III いい換気プラン - 部屋設定 - (Sample003) - P Q 計算のみサンプルプラン

処理メニュー 物件情報 図面設定 部屋設定 (編集設計) 機器設定 申請用プラン図 客先用プラン図 概要印刷

部屋追加 部屋削除 部屋コピー 部屋貼付け 換気回数 0.5 回/時間 反映 表示図面一括設定 事例集(pdf)表示

部屋設定内容全削除 天井高さによる換気回数補正 全階 未設定 反映

部屋面積詳細計算 ☐ 詳細計算行を表示しない

天井高さ一括設定 2.5 m 全階 反映

適用区分	階数	部屋名称	床面積㎡	天井高m	常時換気	局所換気	機器種類(用途)	換気回数	気積m3	必要有効換気量m3/h	表示図面	機器の色
共用1	1F	トイレ	1.66	2.5	☒	☐	トイレ(排気)	0.5	4.15	2.08	未設定	白色
共用1	1F	ホール	3.31	2.5	☐	☐	廊下(排気)	0.5	8.28	4.14	未設定	白色
共用1	1F	玄関	4.14	2.5	☒	☐	廊下(排気)	0.5	10.35	5.18	未設定	白色
共用1	1F	LDK	13.24	2.5	☒	☐	居室(給気)	0.5	33.1	16.55	未設定	白色
共用1	1F	洋室	7.45	2.5	☒	☐	居室(給気)	0.5	18.63	9.32	未設定	白色

●合計情報 ☒ 全て ☐ 共用1 ☐ 共用2 ☐ 共用3 ☐ 共用4 ☐ 共用5 ☐ 共用6

	1F	2F	3F	4F	地階	小屋裏	ロフト	中2階	中3階	合計
床面積合計(対象外含む)	29.8	0	0	0	0	0	0	0	0	29.8
(内、個別部分)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
必要有効換気量(共用1)	37.27	0	0	0	0	0	0	0	0	37.27
設計換気量(共用1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52

部屋/ターン名:

部屋/ターン再読み込み 部屋/ターン登録

系統(階数)名称変更 部屋設定一覧表示印刷

保存 戻る 次へ

【部屋設定】 部屋を設定します。

前回保存したままの内容で良ければ
[次へ]をクリックします。

V-up III いい換気プラン - 機器選定 - (Sample003) - P Q 計算のみサンプルプラン

処理メニュー 物件情報 図面設定 部屋設定 (編集設計) 機器設定 申請用プラン図 客先用プラン図 概要印刷

地 域: 6地域 周波数: 60Hz 換気種別: 第三種 プラン名: バイファン24システム 再自動選定 プラン変更 選定条件設定

機器クリア 品番変更 一括変更 選択中の部屋に機器追加 追加した機器削除(選択行)

☒ 常時換気 ☐ 局所換気 ☒ 全て ☐ 個別 ☐ 共用1 ☐ 共用2 ☐ 共用3 ☐ 共用4 ☐ 共用5 ☐ 共用6

適用区分	階	部屋名称	機器種類(用途)	必要有効換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定	外 換気設備機器	屋外フード
共用1 1F		トイレ	トイレ(排気)	2.08	52.00	0.00	○ バイファン(フィルター) FY-08PFL9D	1 深形フード(7L) FY-MFA04S
		ホール	廊下(排気)	4.14	0.00	0.00	—	0
		玄関	廊下(排気)	5.18	0.00	0.00	—	0
		LDK	居室(給気)	16.55	0.00	0.00	—	1 深形フード(7L) FY-MFA04S
		洋室	居室(給気)	9.32	0.00	0.00	—	1 深形フード(7L) FY-MFA04S

< 共用換気 判定 > ☐ 一覧表示 ☒ 詳細表示

【換気量】

必要換気量(m3/h)	設計換気量(m3/h)	判定
37.27	52.00	適合

【給排バランス】

給気口の数はよろしいですか?
(給気口は 10 ~ 12 個に 1 個が目安です)

【換気回数】

必要換気回数	設計換気回数	判定
0.50回/h	0.69回/h	適合

判定表示 共用1

保存 戻る 次へ

【機器選定】 機器を選定します。

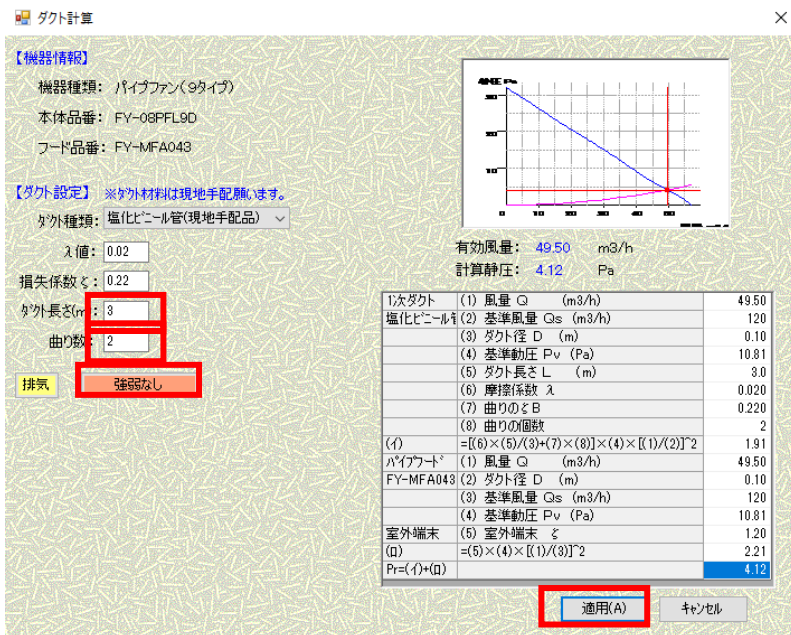
前回同様品番をダブルクリックします。

10. プラン編集からダクト、曲がりの変更で計算書作成ができる 4/5



今回はフードをステンレスに変更しました。

[ダクト計算開始]をクリックします。



今回はダクトの長さを3m、曲り数を2に変更しました。

ノッチの強弱を選んでクリックします。

風量と静圧がでます。

適用(A)をクリックします。

後はSample003作成時同様に初期のPQ計算書を残したい場合はファイル名を変更して保存してください。

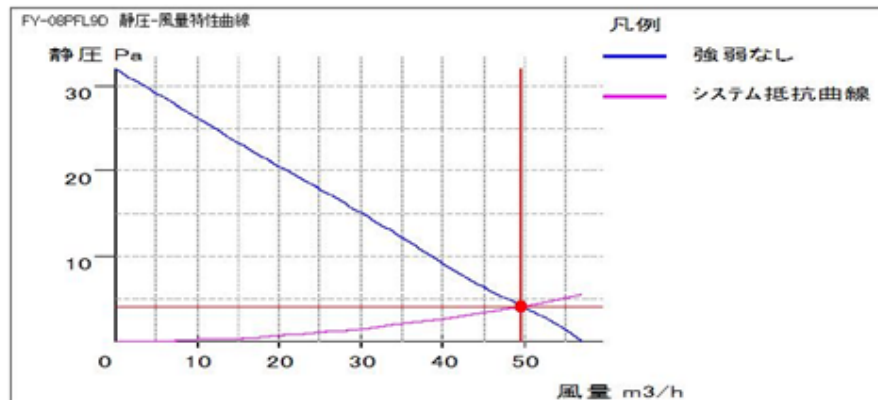
10. プラン編集からダクト、曲がりの変更で計算書作成ができる 5/5

■排気用計算シート FY-08PFL9D + FY-MFA043

有効換気量	(m ³ /h)	49.5	適用区分	共用1
有効換気量率		1	計算経路	1F
システム風量	(m ³ /h)	49.5	管理No.	Sample000

				部屋名
				トイレ
本体	FY-08PFL9D			
1次ダクト	風量 Q	(m ³ /h)	(1)	49.5
塩化ビニール管	基準風量 Qa	(m ³ /h)	(2)	120
	ダクト径 D	(m)	(3)	0.1
	基準動圧 Pv	(Pa)	(4)	10.91
	ダクト長さ L	(m)	(5)	3
	摩擦係数 λ		(6)	0.02
	曲がり部のζB		(7)	0.22
	曲がり部の個数		(8)	2
	(イ) = (1) × (3) / (2) × (7) × (8) × (4) × [1 / (2)] ²			1.91
室外機	風量 Q	(m ³ /h)	(1)	49.5
FY-MFA043	ダクト径 D	(m)	(2)	0.1
	基準風量 Qa	(m ³ /h)	(3)	120
	基準動圧 Pv	(Pa)	(4)	10.91
	室外機長 ζ		(5)	1.2
	(ロ) = (3) × (4) × [1 / (3)] ²			2.21
	Pr = (イ) + (ロ)			4.12

システム風量	49.5 m ³ /h
最大圧力損失	4.12 Pa



周波数	運転モード
80Hz	強弱なし

※システム風量とは設計等一式を設置した時の値です。
 ※計算表の各名の下に記載されている品番は、「▼最大」と表示されている経路で使用されている品番を記載しています。
 ※施工時はそれぞれのダクト長さ及び曲がりの数以内で行ってください、変更の場合は再計算が必要です。
 ※本計算は建築基準法及び施行令等(シックハウス対策)に基づいた計算値です。
 ※実際の風量は住宅性能、設置条件により異なる場合があります。
 ※本資料は貴社情報による参考資料です、施工時には建築士と十分な最終確認を行ってください。

※出力結果参照

・先回同様



印刷プレビューを表示すると

左記の様に完成したPQ計算書が表示されます。

風量が若干減っています。